

科学者委員会男女共同参画分科会(第25期・第12回)議事要旨

1 日 時 令和4年3月28日(月)10時00分～12時00分

2 場 所 オンライン会議

3 出席者

望月 眞弓 委員長, 熊谷 日登美 幹事, 野尻 美保子 幹事, 井野瀬 久美恵 委員, 三尾 裕子 委員,
名越 澄子 委員, 沖 大幹 委員, 玉田 薫 委員, 森 初果 委員, 伊藤 公雄 委員, 藤井 良一 委員,
三成 美保 委員, 吉永 直子 委員, 渡辺 美代子 委員
(欠席)高橋 裕子 副委員長, 三谷 絹子 委員, 谷口 洋幸 委員, 星乃 治彦 委員

4 議題

(1) アンケート検討小分科会からのご報告と今後の議論の進め方

2月に意思の表出の申出書を提出し、現在、対応等検討委員会で検討する前の段階である。全国の787大学+研究機関を含め、計827の機関に依頼した大規模アンケートであり、回答率も一定割合ある。研究者向けのアンケートでは、1万人以上の回答があり、独自性があり、分野横断的な内容のため、提言として発出を想定して申出書を提出したところである。

(2) 性差に基づく科学技術イノベーションの検討小分科会からのご報告と今後の議論の進め方

性差を考慮した研究推進の必要性、性スペクトラムという概念の周知、性別データ所得の必要性について、見解として発出予定である。本申出書は1月に提出し、対応等委員会で検討中である。

(3) 性差に基づく科学技術イノベーションの学術フォーラム

2022年9月8日に、性差に基づく科学技術イノベーションの学術フォーラムの開催を計画している。なお、IYBSSDとの連携、理化学研究所との共催について了承された。

(4) IBYSSD(持続的発展のための国際基礎科学年)連絡会議の参加について

IBYSSD連絡会議へ、男女共同参画分科会として参画し、野尻委員が分科会から出席する。

(5) 各部附置関連分科会からの報告

総合ジェンダー分科会からの報告

女性の政治参加をどう進めるかかというシンポジウムを3月13日に開催した。

教育機関におけるジェンダー平等教育の現状と課題のシンポジウムを5月5日に開催予定である。

ジェンダー平等教育に関して分野横断的な議論の場を男女共同参画分科会の小委員会として提案することを検討中である。

生命科学ジェンダー・ダイバーシティ分科会からの報告

連続公開シンポジウム「生命科学分野におけるジェンダー・ダイバーシティ」というテーマで、3回にわたりシンポジウムを開催してきた。

2021年10月28日 第1回 大学における女性リーダーから見た課題と展望

2021年12月19日 第2回「大学・企業・学協会におけるダイバーシティ推進に向けた取り組み」

2022年3月23日 第3回「Disability Inclusive Academia: 障害のある人々の視点は科学をどう変えるか」
上記のシンポジウムを記録としてまとめることを考えている。

理工学ジェンダー・ダイバーシティ分科会からの報告

女子の理数教育に関する話題提供をしてもらい、見解の発出を検討している。

2021年8月24日 「女子の理工系進学に向けた中等教育段階における支援の在り方」

「数学・物理に女性はなぜ少ないか」

2021年12月14日 「次世代育成オフィスにおける女子生徒対象とした取り組みと STEAM 教育」

「IT 分野のジェンダー格差を解消する活動について」

2021年12月27日 「ジェンダーの視点から考える学校理科教育の課題」

「初等中等教育における教員に求められるジェンダーの視点と課題」

(6) ジェンダー研究・国際連携小分科会

国際女性史連盟の東京大会は、2023年から2024年に延期された。

(6) その他

Women's Empowerment Principles (WEPs)の報告の和訳が出ているという情報提供があった。

- ・資料1 意思の表出の申出書
- ・資料2-1 意思の表出の申出書
- ・資料2-2 見解案
- ・資料2-3 学術フォーラム企画案
- ・資料3 第一部総合ジェンダー分科会
- ・資料4 第二部生命科学ジェンダー・ダイバーシティ分科会
- ・資料5-1 意思の表出の申出書
- ・資料5-2 第三部理工学ジェンダー・ダイバーシティ分科会・第4回議事要旨
- ・資料5-3 第1回小委員会議事録
- ・資料5-4 第2回小委員会議事録
- ・資料6 持続可能な発展のための国際基礎科学年(IYBSSD)連絡会議
- ・参考1 科学者委員会男女共同参画分科会委員名簿

以上